



平成23年
7月

撮影地：真庭市下長田河川公園

コメント：田舎の川沿いにある小さな公園に咲く〈吉井外科医院 吉井康哲先生〉

〈赤磐医師会病院基本理念〉

- ❁ 心のかよう、温かみのある医療の提供に努めます。
- ❁ 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- ❁ かかりつけ医と連携を深め、地域と共にある病院を目指します。





循環器科紹介

循環器科 森田 宏



循環器科外来は週三回、月、火、木で行っています。月曜日は岡山医療センターより灘、火・木曜日は岡山大学病院より森田と赤木が午前と午後の外来を担当しています。循環器外来では定期受診をされている患者さんや外科系症例の術前精査の他に、主に赤磐地区の開業の先生方からの精査・相談、検査などを目的として患者さんの紹介を受けています。

循環器外来で行う検査としては、通常の心電図、負荷心電図（マスター2階段負荷）のほかに、心臓超音波検査（心エコー）、24時間ホルター心電図検査、冠動脈CTといった検査を中心として行っています。さらに心筋シンチグラム、心臓カテーテル検査が必要となった場合は、岡山大学病院、国立岡山医療センター、心臓病センター榊原病院などと連携を行い、高度医療を行うことができます。さらに大学病院、医療センターは外来をしている医師の普段の勤務先であり、よりスムーズな紹介、入院が可能であり、入院中から退院後のフォローまで一貫して行うことが可能です。

医師会会員の先生からのご紹介を受ける患者さんは狭心症、心不全から不整脈まで様々な病気を持たれています。この中で、不整脈、特に心房細動の治療については治療に使える薬で新しい動きがありましたので紹介させていただきます。心房細動治療を行うとき、不整脈に伴う自覚症状（動悸、息切れ、胸痛など）があるかどうか、抗凝固薬治療の適応があるかどうかポイントとなります。自覚症状の改善としては様々な抗不整脈薬、心拍数コントロールのためのβ遮断薬、カルシウム拮抗薬を中心に行い、それでも症状が強い場合、カテーテル焼灼術の適応も考えてゆきます。抗凝固薬が必要かどうかは脳梗塞を起こすリスクが高いかどうかを評価して考えます。しかしながら心房細動は加齢とともに増加し、多い統計では90歳代では1割近くに見られるとするものもあり、また加齢そのものの脳梗塞リスクとして考えられるようになっているため、日常に遭遇するほとんどの心房細動の患者さんは抗凝固薬の適応を考慮しなければならなくなっています。抗凝固薬の選択はこれまではワーファリンのみしかありませんでしたが、この春より新しい抗凝固薬が使用できるようになってきました（ダビガトラン）。さらに来年にかけても別の種類のものが承認され、使用できるようになります。新しい抗凝固薬の特徴としては、ワーファリンのように採血をして投与量を決める必要がないこと、納豆や青汁、クロレラなどの摂取制限が必要ないことが挙げられます。特に採血結果で細かい容量の調節が必要なくなることは今後実地医家の先生方で導入、コントロールがしやすくなることと思われます。実際、赤磐医師会病院でもこれまでの薬剤を新しい抗凝固薬へ切り替えたり、新規導入して治療開始した患者さんで、内服開始後問題なければご紹介いただいた先生のところで引き続き治療を行っていただいている患者さんもおられ、今後心房細動の脳梗塞予防で中心的な薬剤になってゆくと思われます。



赤木 達

灘 隆宏

研修会実績報告

委員会又は部署名	開催日	研修会テーマ	講師	参加者
安全管理対策委員会	4月22日	人工呼吸器サーボS使用説明会	フクダ電子岡山営業所	9
東部画像診断研究会	5月26日	膝関節の見方と撮り方 他	赤磐医師会病院放射線科 川上 GE Healthcare Japan 船木氏	13
接遇委員会	6月10・17日	接遇とは心からのおもてなし	株式会社成和産業CS推進部 平儀野氏	2日間計 135
看護部教育委員会	6月15日	看護倫理研修会	看護部教育委員	35
安全管理対策委員会	6月30日	事例に学ぶ医療安全～現場に 潜むリスクを共有する～	岡山大学病院 医療安全管理部 前川氏	72
看護部教育委員会	7月6・13・20・27日	在宅酸素研修会	帝人在宅医療株式会社 藤江氏	延べ110
感染対策委員会	7月23日	医療従事者の健康管理について	株式会社SRL 医療環境管理士 門田氏	40
看護部教育委員会	9月13日	院外研修報告会	看護部教育委員	36
輸液ポンプ研修会	9月30日	新規購入輸液ポンプの安全使用	JMS株式会社 川尻氏	35
褥瘡対策委員会	10月22日	褥瘡に関する情報交換会	情報交換会のため、講師無し	17
東部画像診断研究会	10月27日	胸部の画像診断「無気肺」 他	草加病院 藤田氏 北川病院 播本氏	10
看護部教育委員会	11月11・12・18日	看護必要度の研修	赤磐医師会病院看護師 時長・榮谷	79
安全管理対策委員会	11月19日	問題患者対応について	川崎医科大学附属病院 事務部 森定氏	87
衛生委員会	12月2日	メンタルヘルス基礎講座	日本産業カウンセラー協会中国 支部 大森氏	43
赤磐胃腸と栄養の研究会	12月4日	胃腸造設は誰が決定するのか	間阪内科 間阪先生 岡山済生会病院 藤原先生	48
看護部教育委員会	12月16日	院外研修報告会（2回目）	看護部教育委員	36
感染対策委員会	2月4日	耐性菌対策	ファイザー株式会社 学術支援部 三木氏	39
リハビリテーション科	2月6日	重症患者に対するSTの関わり方	備前市立吉永病院 リハビリテーション科 寺地氏	17
輸血委員会	2月24日	輸血用血液製剤の取り扱い	岡山県赤十字血液センター 岡田氏	39
看護部教育委員会	3月7日	院内看護研究発表会	岡山県立大学教授 掛橋氏 山陽学園大学准教授 奥山氏	72
NST委員会	3月11日	下痢・便秘 食物繊維のはなし	テルモ株式会社 森田氏	29
東部画像診断研究会	3月23日	X線CT ①最近の話題と今後の展望 ②撮影プロトコルを考える	東芝メディカルシステムズ株式会社	10
クリティカルパス委員会	3月25日	平成22年度東備地域医療連携 研修会 地域連携パスについて	赤磐医師会病院 内科医長 緒方正敏 管理栄養士 上山ひさよ	72

合計 1,083

平成22年度研修会実績について

平成22年度は、年間で23の研修会が開催され、院内だけでなく院外の方を含めて合計で1,083人が上記の研修会に参加しました。特に安全管理対策委員会主催の「事例に学ぶ医療安全～現場に潜むリスクを共有する～」は参加者が72名（うち院外が13名）、同様に安全管理対策委員会主催の「問題患者対応について」は参加者が87名（うち院外が49名）、またクリティカルパス委員会主催の「地域連携パスについて」は72名の参加（うち院外が43名）がありました。今年度は、興味ある研修テーマが多かったため、例年以上に参加者が多かったと思われます。また、院内のみの研修会では接遇委員会主催の「接遇とは心からの

おもてなし」が、2日間計で135名あり多数の参加がありました。また、夜7時以降開催の研修会は7件あり、院外の方々の参加を募った研修会も計11件と昨年に比べて大幅に増えました。

■平成23年度研修会予定について

平成23年度も、院外の方々に向けて、NST委員会では「褥瘡と栄養について」、安全管理対策委員会では「医療安全について」、衛生委員会では「メンタルヘルスケアについて」、感染対策委員会等、研修会開催を予定致しております。研修の内容（テーマ）等一部変更があるかもしれませんが、日時等決定しましたらご案内致しますので参加をお待ちしております。

〈研修会参加者の感想〉

- 1. 安全管理対策委員会** 【テーマ】事例に学ぶ医療安全 ～現場に潜むリスクを共有する～
 - 「報告してくれてありがとう」の気持ちが大切であることを学んだ。
 - 良好な職場の風土づくりについて学んだ。
 - 確認の力、コミュニケーションの力の大切さについて学んだ。
- 2. 褥瘡対策委員会** 【テーマ】褥瘡に関する情報交換会
 - お互い現場の生の声を聞くことができ勉強になり継続看護の重要性を痛感できた。
 - 多くの情報交換ができよい交流が持てた。今後の委員会活動に役立てていきたい。
- 3. 衛生委員会** 【テーマ】メンタルヘルス基礎講座
 - メンタルヘルスの基礎知識を理解することができた。
 - 実際に参加型の内容が多く、大変わかりやすかった。
 - 心が疲れたときの気持ちの切り替えなど、特に参考になる事が多かった。
- 4. 赤磐胃瘻と栄養の研究会** 【テーマ】胃瘻造設は誰が決定するのか
 - 胃瘻を造る医師の立場と、その前後で関わる施設の方々と意見交換し意識を共有することが出来た。
 - 個人的立場、介護者の立場などいろいろな立場で胃瘻を考えることができた。
- 5. クリティカルパス委員会** 【テーマ】地域連携パスについて、チームで繋げる糖尿病食事療法
 - 多職種の参加と多くの院外の方々の参加があり、地域での医療連携の必要性や理解を得る事ができたのではないかと思います。
 - また、栄養士等からの糖尿病食事療法については、普段聞きにくい部分まで質問でき知ることができたという声も聞かれた。今後も継続した研修等ができるよう立案していきたいと思う。

総務課 山本 英人



新人紹介

看護師 ● 若林富佐子

20数年ぶりに、再びこちらで働かせていただくことになりました。新しい事に戸惑うことばかりですが、精一杯頑張っていきますので、どうか宜しくお願いします。

看護師 ● 福田日香里

この3月に学校を卒業しました。卒業したばかりでわからないことがたくさんあり、職場の方や患者さんにはご迷惑ばかりおかけしています。少しずつ出来ることが増えていくよう努力しますので、よろしくお願いします。

看護師 ● 横林 瑛子

看護師としての責任の重さや命の尊厳を実感する毎日です。今はまだ不安や緊張も多いですが、先輩方のサポートのおかげで一步一步前進しているところです。患者さん一人ひとりに寄り添う看護を提供できるよう頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。



第1回 看護部運動会開催

5月21日、看護師のリフレッシュと親睦を兼ねて初めての試みである第1回看護部運動会を山陽ふれあい公園で開催しました。

大縄跳びや6人7脚リレー、その他定番のパン食い競争など6種目を各部署別対抗で5チームに分かれて競いました。子供10人を含め総勢38名が参加し大盛況となりました。

優勝は西2階チーム!! 豪華景品を分け合いました。看護部での親睦も図れ、また部署内での団結力が高まり笑顔が絶えず、けが人もなくリフレッシュできる良い機会となりました。当日参加できなかった方からも、写真を見て楽しさが感じられたと嬉しい声も上がっています。

今後も他部署への参加を促し、病院全体が活気づくような行事を考えていきたいと思います。

看護部 松村 優子





材料（約2人分）

ブロッコリー
（季節の野菜で…）… 200g
冷やし甘酒（森永）… 200g
イチゴ
（旬の果物で…）…… 40g



ブロッコリーのデザートスープ

<1人分100cc> エネルギー：50kcal、タンパク質：2.5g、水分：140g

<作り方>

1. ブロッコリーを茹でて細かく
なるまでミキサーにかける。
2. 甘酒と合わせる。
3. 器に盛り、イチゴのペースト
を飾る。

<ポイント>

今回は簡単に作れて、意外と美味しいデザートスープです。

野菜嫌いな方、摂取量が少なく水分補給の必要な方など、さっぱりとしていて、これからの季節に良いですよ。

ポイントは、酸味のきいた果物を使うことです。



赤磐医師会病院 栄養科
A.P.N.clbu レシピ集より

ポエムコーナー

生きる力

そっと胸に手を当ててごらん
どっくん どっくん
命の鼓動が響いてくるだろう
大きく息を吸いこんでごらん
体の中に
新しい元気が入ってくるだろう
そして手を大きく広げて
背伸びをしてごらん
体の中から
“生きる力” わいてくるだろう

黒田 秀章

poem

あとかき

- コ ミニケーション（対話）
- ス マイル（笑顔）
- モ ビリティ（機敏性）
- ス キル（技術）

10日以上も早い梅雨入りとなり、体調不良になる方が増えているようですので、体調管理に気をつけて、うとうしい季節を乗り切りましょう。

（編集部）



地域医療支援病院 赤磐医師会病院

〒709-0816 岡山県赤磐市下市187-1

TEL 086-955-6688（代） FAX 086-955-4946

E-mail: akaiwahp@gamma.ocn.ne.jp HP <http://www.akaiwa-mah.jp/>

発行日 平成23年7月15日

